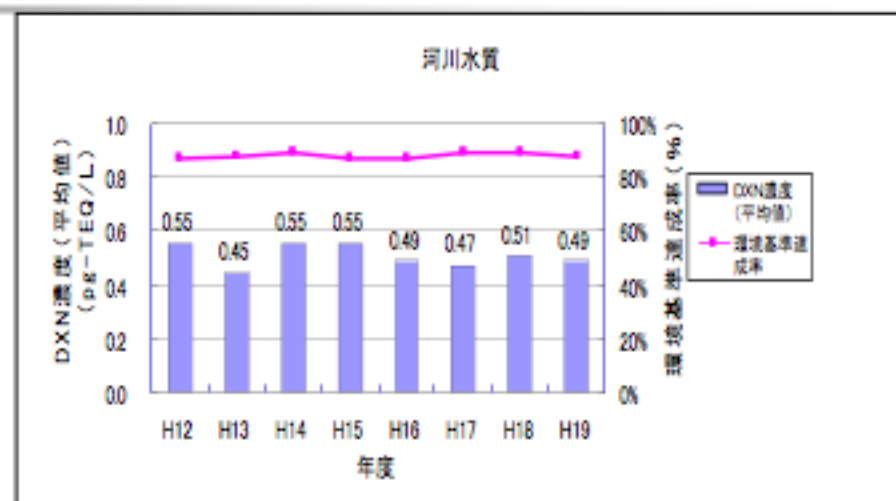
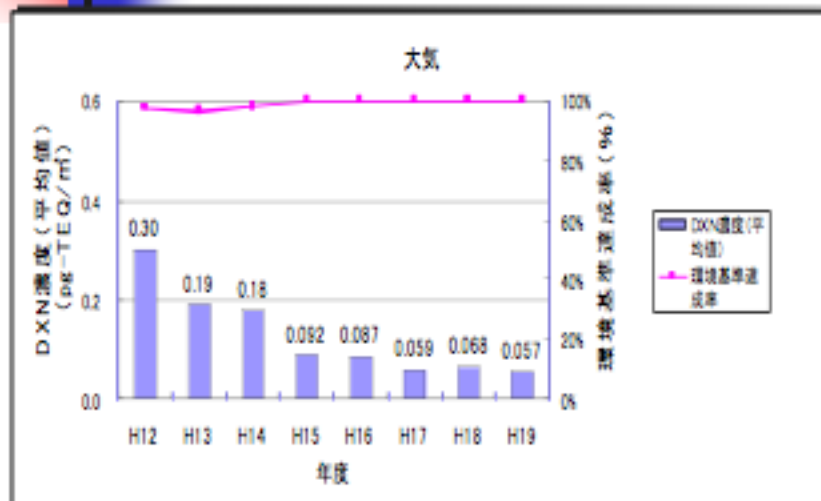


3. 大阪府域における化学物質の現況 ダイオキシン類関係

ダイオキシン類環境濃度の経年変化



(大気)

大阪府域の環境中のダイオキシン類の常時監視結果から、大気中のダイオキシン類の濃度は排出規制の効果により低下傾向であり、平成15年度以降は全ての地点で環境基準を達成している。

(水質)

河川などの水質については、底質中に蓄積しているこれまでのダイオキシン汚染の影響が残っていることから、ほぼ横ばいの状況で環境基準値を超過している地点もみられる。